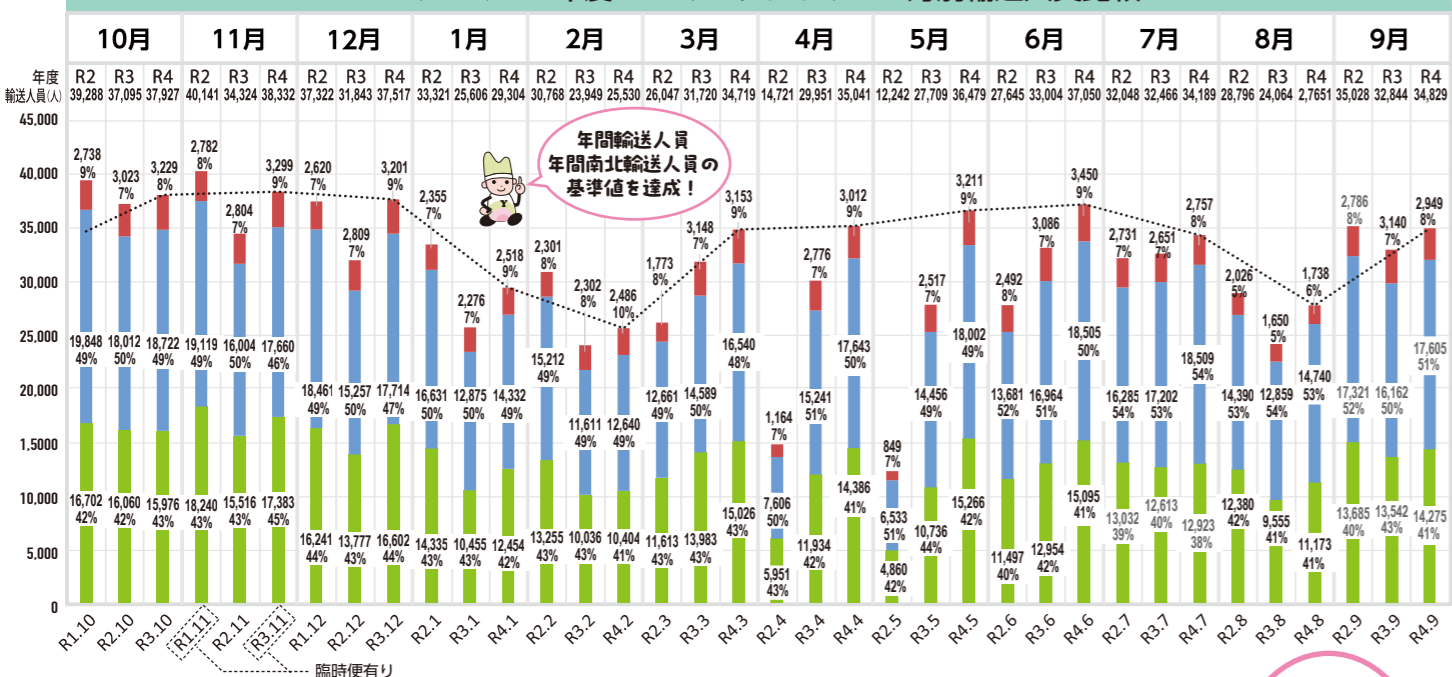




令和4年度のバス利用者のお知らせ

令和4年度の輸送人員は、408,568人と基準値としている370,000人を超え、昨年度より43,993人利用者が増えました。コロナ前の利用者が戻りつつあり、引き続き利用促進に取り組み、目標値である420,000人を達成できるよう取り組んでまいりますので、ご愛顧いただきますようよろしくお願い致します。

R2、R3、R4年度のさくらやまなみバス月別輸送人員比較



累計期間	北部地域内々流動	南部地域内々流動	南北地域間流動	計
R4年度	35,003人	202,611人	170,954人	408,568人
R3年度	32,182人	181,232人	151,161人	364,575人
R2年度	26,617人	177,748人	153,002人	357,367人

	目標値達成状況				
	目標値	基準値	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績
年間輸送人員	420,000人	370,000人	357,367人	364,575人	408,568人
年間南北間輸送人員	190,000人	155,000人	153,002人	151,161人	170,953人

令和3年度の輸送人員より**43,993人**増えました!!
目標値まであと**11,432人!**

ケイ線：山口中学校 藤原 和花さん



毎号掲載! 山口地域の見どころ紹介
アルキナーレ2022について

西宮山口の魅力に触れ、来訪者との交流を通じ、地域の活性化を図ることを目的に2012年からアルキナーレを開催しており、3年ぶりに開催しました! 上山口地区、下山口地区、名来地区の3地区のだんじり運行も実施し、今までは地区内の男性のみだんじりに乗ることができましたが、子ども向けの特別企画として、女の子や他地域の子どもたちも乗ることができ、たくさんの子供たちで賑わいました。



※西宮山口ホームページリンク↓
<https://nishinomiya-yamaguchi.jp>



北六甲台小学校の取組みについて紹介

現在北六甲台小学校では、さくらやまなみバスの利用者を増やす取り組みを基にした、「地域活性化、社会参画へのつながり」を6年生総合学習の題材とされ、テーマを「さくらやまなみバスの乗客数を増やそう」とし取り組まれています。社会科の授業の課題で、地域をよりよくするために「バスの便数を増やしたい」というメールを市役所にしたことからはじまり、西宮市、さくらやまなみバス利用促進協議会、阪急バスが連携し取り組んでおります。今年1年間の取組み内容を紹介します。

総合学習「さくらやまなみバスの乗客数を増やそう」
これまでの取組みについて紹介

1学期の取組み内容 ~さくらやまなみバス、阪急バスについて知る~

さくらやまなみバス利用促進協議会、阪急バス、西宮市は、子どもたちにさくらやまなみバス、阪急バスを知っていただくために、出前講座を行いました。子どもたちの反応は、真剣に話を聞いて、利用促進協議会会長、阪急バス社員、西宮市職員の問いに対しても積極的に答えてくれました。さくらやまなみバスや阪急バスのこと、地域の方々のバスに対する想い、バスを利用することによるメリットなど、理解してもらえたと思います。

講座の内容	さくらやまなみバス利用促進協議会 (R4.5.26実施)	阪急バス (R4.6.2実施)	西宮市 (R4.5.19実施)
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々の想い さくらやまなみバスの名前の由来 さくらやまなみバスができた経緯 山口町がらあるきマップについて 利用促進活動に関する若い方への協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 阪急バスの概要 ダイヤの決め方 バスのメリット 利用者推移について バス事業全体の状況 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通とは さくらやまなみバスの概要、歴史 利用促進協議会の取組み 西宮市の見どころ バスのメリット

子どもたちの主な質問

今の生活で満足しているのに、なぜ利用促進をしなければならないのか

利用者が増えるためにはどんな活動を行っていくべきか

利用者が増えれば、増便できるのか

南部地域の駅に行くのに、北部地域の駅に行かないのはなぜか

支払いサービスに電子マネー(スマホ決済)は導入しないのか

阪急バスが走っているルートには、さくらやまなみバスは走ることができないのか

通勤通学者がたくさん乗っているのになぜ赤字なのか



利用促進協議会会長との集合写真



阪急バスの出前講座



タイトル：山口中学校 山迫 幸輝さん

